

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実績

(単位:円)

事業名	事業目的及び事業概要	事業効果の理由及び検証結果	担当課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費	臨時交付金充当額
市民アンケート等のデジタル化事業	市民アンケートなどコロナ禍における市民意見を聴取する手法として、インターネットを活用して比較的容易にアンケートの実施及び集計が可能なシステムを導入する。	対面や紙を介さず、インターネットでアンケートなどの業務を行うことができた。非接触で行うことにより、市民、市職員ともにコロナウイルスに感染するリスクを低減することができた。	広報情報課	R3.4.1	R4.3.31	462,000	462,000
しそチャンネルデータ放送システム再構築業務	ケーブルテレビしそチャンネルのデータ放送(リモコンのdボタン)システムを再構築し、ワクチン接種等のコロナ関連情報を視覚的に分かりやすく届ける。	テレビのデータ放送でコロナワクチンの案内等を行うことにより、テレビを情報入手手段にする市民に対して、効率的にコロナウイルス関連の情報を発信し、ワクチン接種の促進や、コロナ対策の啓発を行うことができた。	広報情報課	R3.8.16	R4.2.18	8,800,000	8,800,000
宍粟防災センター空調設備強化工事	指定避難所や福祉避難所に指定し、備蓄倉庫としての機能も備える市の防災拠点、「宍粟防災センター」の空調機器を除菌ユニットまたは空気清浄機能(高性能フィルター)を備えた空調機器に更新する。	空気清浄機能(高性能フィルター)を備えた空調機器を整備することで、市民が安心して利用できる環境となっており、平時における貸館利用においても、災害時における避難所開設においても館内でのクラスター等の発生に至っていない。	危機管理課	R3.8.19	R4.2.1	49,170,000	49,170,000
避難所網戸設置工事	夏場に避難所を開設する際の感染症対策として、避難所施設の窓等に網戸を設置し、市民が安心して避難できる環境を整備する。	網戸設置により市民が安心して避難できる環境を整備でき、夏場でも安心して換気のために窓を開けられるようになったため、設置の効果は大きいものと考えている。	危機管理課	R3.7.5	R3.8.10	330,000	330,000
消防署水道自動水栓化事業	消防署の感染防止対策として、署内の手洗い用水道を一部自動水栓化にすることで、職員の感染リスクを減少させ、感染症拡大防止対策を強化する。	救急業務を行う消防職員の感染リスクの減少及び庁舎内の感染拡大防止に繋がった。	危機管理課	R3.7.20	R3.8.31	187,000	187,000
スマホ決済導入事業	市税についてスマートフォンからの納税ができる環境を整備することで、納税に関わる人と人の接触機会の減少を図る。	キャッシュレス決済の普及に合わせて非対面による納税方法の選択肢を増やすことで、感染拡大リスクの低下を図りつつ収納率の向上に寄与することができた。	税務課	R3.9.15	R4.3.31	1,214,315	1,214,000
地域女性活躍推進交付金	コロナ禍において孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、NPO等の知見を生かし、アウトリーチ型支援や支援のための居場所づくりなどを進める。また、女性相談デーを毎月実施し、不安を抱える女性への相談体制を整えるとともに、必要に応じて、生活困窮者へ衛生用品を配付する。	コロナ禍における地域社会とのつながりの促進(女性の居場所づくりへの参加者数17人参加)、アウトリーチによる寄り添った相談実施(延べ56回実施)につなげることができた。	社会福祉課	R3.6.1	R4.3.31	2,035,006	510,000
自宅療養者に対する支援物資セットの配付	新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者であって、自宅療養(自宅待機)を余儀なくされている方を対象に、その期間中、必要となる食料品、日用品・衛生材料及び健康管理に必要な物品等を自宅に配付することで、安心して自宅療養を送ることができるよう支援をする。	新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者へ、食料品、衛生材料及び健康管理に必要な物品等を自宅に配布・貸与することで、安心して療養生活を送れるように支援を行うことができた。	福祉相談課	R3.4.16	R4.3.31	1,695,755	1,695,000
一宮北診療所整備事業	一宮北部の医療拠点として整備する一宮北診療所に、発熱外来患者を診療する場所を別に設けることで、他の患者との接触を避け、診療所の安全の確保を図る。	発熱等有症状の患者を診療する場所を別に設けることにより、一般外来患者との接触を避けることで、院内感染等のクラスターのリスクを低減することができたとともに、医療従事者の感染リスクも低減できた。	保健福祉課 一宮保健福祉課	R3.11.8	R4.3.19	26,764,100	26,764,000
新型コロナウイルス関連融資信用保証料助成事業	兵庫県信用保証協会が行う債務の保証により、融資を受ける方が負担する信用保証料の一部を助成することで、事業者の円滑な資金繰りにつなげる。	新型コロナウイルス感染症により事業運営に支障をきたしている事業者の資金繰りを支援することで、市内事業者の経営の安定化に寄与できた。	商工観光課	R3.4.1	R4.3.15	4,878,000	3,777,000

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実績

(単位:円)

事業名	事業目的及び事業概要	事業効果の理由及び検証結果	担当課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費	臨時交付金充当額
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業(第2期)	兵庫県と兵庫県内市町で協調し、兵庫県の要請で時短営業に協力した飲食店等の店舗に対し、協力金を支給することで、飲食店等の経営の支援に寄与する。	県と市町で協調し、時短営業に協力した飲食店等の店舗に対し、協力金を支給し、感染防止策の徹底を図ることができた。	商工観光課	R3.4.1	R3.11.30	9,413,333	9,413,000
宍粟市観光振興活動促進補助事業(観光宿泊促進助成事業)	市内に観光等を目的として宿泊する方の宿泊費の一部を助成することで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内の観光事業者の経営の支援に寄与する。	宿泊補助を行うことで、市内に多くの観光客を誘客することができ、コロナ禍において市内の観光業の活性化を促すことができた。	商工観光課	R3.7.1	R4.3.23	22,480,125	22,480,000
地域応援商品券事業	外出抑制による消費の落ち込みを回復するため、期間限定のプレミアム付き商品券を発行し、消費喚起と地域商業の活性化を図る。	アンケート結果から分析すると、日常生活における消費の手助けとなっており、購入された方には好評を得ることができている。また、新型コロナの影響を受けているお店の売上に協力するためという理由で購入された方もいることから、消費の落ち込みが多い飲食店への消費喚起を促すことはできた。	商工観光課	R3.7.1	R4.3.31	47,804,643	47,804,000
商工業等IT化支援事業	コロナ禍における経営への影響を低減させるため市内事業者が実施するインターネット販売サイトの立ち上げ経費を支援するとともに、感染防止対策として実施するキャッシュレス決済の導入経費を支援する。	新型コロナウイルス感染症の経営影響を低減させるためインターネット販売サイトの立ち上げと新しい生活様式への感染防止対策としてのキャッシュレス決済導入を支援し、市内事業者のIT化に寄与した。	商工観光課	R3.7.1	R4.2.28	238,000	238,000
水道料金(基本料金)の支援	新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済の影響を踏まえ、市民の生活支援策として、また、緊急事態宣言により外出自粛が呼びかけられる中でのステイホームの推進として、水道基本料金についてR3.4~R3.6の3か月間助成する。	水道基本料金を免除することで広く市民の生活と事業者を支援することができ、非常に効果的な取組となった。	水道管理課	R3.4.1	R3.6.30	89,696,090	89,696,000
保育対策事業費補助金	保育所等での感染症対策に係る経費の支援や保育所等が配布するマスク等を購入することで、保育所等における感染対策の強化に寄与する。	マスク、消毒液等の購入により、施設が感染予防対策を講じることで、施設内での感染拡大を防止し、保護者が安心して児童を預けられる環境を整えることができた。	こども未来課	R3.4.1	R4.3.31	6,985,275	1,250,000
子ども・子育て支援交付金	学童保育等での感染症対策に係る経費の支援や事業所等が配布するマスク等を購入することで、学童保育等における感染対策の強化に寄与する。	マスク、消毒液等の購入により、施設が感染予防対策を講じることで、施設内での感染拡大を防止し、保護者が安心して児童を預けられる環境を整えることができた。	こども未来課	R3.4.1	R4.3.31	965,770	323,000
修学旅行等キャンセル料補助事業	新型コロナウイルス感染症の影響により小中学校の修学旅行や社会科見学等の校外学習行事を取りやめた場合に必要となるキャンセル料金を助成することで、保護者の経済的負担の軽減に寄与する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中学校の修学旅行等(修学旅行5校、わくわくオーケストラ3校)が延期・キャンセルとなり、補助金を交付したことで保護者等の経済的負担軽減に効果を上げることができた。	学校教育課	R3.7.1	R4.2.28	1,468,894	1,468,000
スクール・サポート・スタッフ配置事業	新型コロナウイルス感染症対策のため増加した学校業務(学校施設内の消毒作業等)を補助するため、スクール・サポート・スタッフを各校に配置する。	スクール・サポート・スタッフとしてシルバー人材センターに消毒業務の一部を委託したことで、教職員の消毒作業にかかる負担を軽減するとともに、学校における感染症対策として効果を上げることができた。	学校教育課	R3.6.30	R4.3.29	5,649,613	5,649,000
タブレット端末充電器購入事業	小中学校のタブレット端末の充電器を購入することで、児童・生徒タブレット端末を自宅に持ち帰った際に自宅学習する環境を整備する。	小中学校のタブレット端末を児童生徒が自宅学習のために持ち帰った際に端末を充電することができ、コロナ禍における家庭での自宅学習環境を整備することができた。	施設整備課	R3.8.4	R3.10.6	5,363,635	5,363,000

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実績

(単位:円)

事業名	事業目的及び事業概要	事業効果の理由及び検証結果	担当課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費	臨時交付金充当額
ALT受入に替わる業務委託事業	新型コロナウイルス感染症の影響により受入予定であったALTが入国できなかったことから、学校での授業の遅れとならないよう外国人人材派遣を取り扱う事業者へ国内にいる外国人人材の派遣を依頼する。	新型コロナウイルス感染症の影響により入国できなかったALTの代わりに、委託業者から外国人人材を派遣してもらい、学校での授業の遅れとならないように対応することができた。	教育総務課	R3.4.1	R4.3.31	4,598,000	4,598,000
消毒用アルコールジェル配送事業	市が保有する消毒用アルコールジェル・ハンドソープを市内各施設、各団体等に幅広く配布することで、感染拡大防止に寄与する。	市に寄付を受けた消毒用アルコールジェル・ハンドソープを市内各施設、各団体等に幅広く配布することで、市全体の感染対策を図ることができた。	教育総務課	R3.4.1	R3.9.30	256,646	256,600
新型コロナウイルス感染症対応型運行支援事業	車内の乗車密度を上げないよう便数等に配慮した運行を実施しているバス運行事業者について、兵庫県とともに運行に要する経費の一部を支援することで、バスの運行便数の維持に寄与する。	車内の乗車密度を上げないために便数を減らさずに運行がされたことで、感染症対策になるとともに、利便性を低下させず、住民の移動手段の維持に資することができた。	まちづくり推進課	R3.8.1	R4.3.10	489,000	489,000
新型コロナウイルス感染症対策運行支援補助事業	市内バス事業者におけるバスへの空気清浄機の設置費用を助成することで、運行バス内における感染防止対策の強化に寄与する。	バスの車内に空気清浄機を設置することで、利用者、ドライバーが安心して利用、運行することができた。	まちづくり推進課	R3.11.12	R4.3.11	2,256,672	2,051,000
タクシー事業における感染症対応支援事業	市内タクシー事業者におけるタクシー内での感染防止対策の取組について、兵庫県とともに支援を行う。	運行事業者の感染症対策を促進することで、利用者、ドライバーが安心して利用、運行することができた。	まちづくり推進課	R3.11.17	R4.2.28	149,903	149,000
宍粟市雇用維持支援金	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内事業者における従業員の雇用維持が困難な状況となっており、休業等に係る国の助成金を受けた事業者や、新たに従業員を雇用した事業者への支援を行うことで、市内事業者における従業員の雇用維持に寄与する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける市内事業者が従業員の雇用維持に努める取組に対して支援し、雇用の安定及び事業活動の継続に寄与することができた。	商工観光課	R3.10.11	R4.1.20	9,150,000	9,150,000
宍粟市みなし法人事業継続応援給付金	新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少した事業者で、みなし法人であることを理由に国の持続化給付金制度の対象とならなかった事業者に対し、給付金を交付することで、事業の持続に寄与する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少した事業者に、給付金を交付することで、事業の落ち込みの影響を防ぎ、事業の持続に寄与することができた。	商工観光課	R3.10.11	R3.12.24	2,000,000	2,000,000
学校園感染防止対策事業	小中学校等にサーモグラフィカメラを導入することで、児童生徒等の検温を徹底し、健康状態の把握の強化に寄与する。	子どもにも感染力が強い変異株の感染拡大が断続的に続く状況の中、登校時等における検温により児童生徒等の健康状態把握の一助となった。	施設整備課	R3.11.5	R3.12.10	2,691,761	2,691,000
保育所等感染防止対策事業	保育所等にサーモグラフィカメラを導入することで、児童生徒等の検温を徹底し、健康状態の把握の強化に寄与する。	来園者に対して入口等で検温することで体調不良者の把握ができ、園内へのウイルスの持ち込みを予防できた。	こども未来課	R3.10.4	R4.3.31	517,646	517,000
民間保育所等感染防止対策補助金交付事業	民間保育所等における感染防止対策として、施設にサーモグラフィカメラの設置費用を助成することで、検温体制の強化を図る。	来園者に対して入口等で検温することで体調不良者の把握ができ、園内へのウイルスの持ち込みを予防できた。	こども未来課	R3.10.4	R4.3.31	859,760	781,000
総合病院感染症対策強化事業(宍粟総合病院事業会計への繰出金)	コロナ感染症患者(疑い含む)の増加や、インフルエンザ流行期に備え、発熱患者等専用の診察室(仮設ハウス)を設け、外来診療・検査体制の強化を図る。	院外に検査場を設けることにより、一般患者と発熱患者とを分けることができ、外来でのクラスターを発生させることなく、通常の診療体制を維持することができた。	総合病院	R3.12.23	R4.3.31	4,070,000	3,700,000

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実績

(単位:円)

事業名	事業目的及び事業概要	事業効果の理由及び検証結果	担当課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費	臨時交付金充当額
総合病院感染症対応事業 (宍粟総合病院事業会計への繰出金)	感染症の疑いがある患者への検査に係る負担軽減と感染者の早期発見・治療につなげるため、一度の検査で複数の原因ウイルスの特定が可能な機器(全自動遺伝子解析装置)を導入する。	コロナ禍において、感染症の早期発見・治療に繋がり、感染拡大防止等の安全安心な医療の提供に役立てることができた。	総合病院	R3.10.29	R4.3.10	6,656,100	2,053,000
総合病院感染症対策強化事業②(宍粟総合病院事業会計への繰出金)	コロナ患者を受け入れている総合病院での新型コロナウイルスの空気感染対策として、陰圧装置を追加で導入・設置することで、病室内を陰圧室とし、患者から医療従事者等への感染拡大防止を図る。	陰圧装置を導入・設置することで、入院患者から医療従事者等への感染拡大防止を図ることができ、院内クラスターを発生させることなく、通常の診療体制を維持することができた。	総合病院	R4.2.9	R4.3.10	4,105,200	3,732,000
スポーツ施設の感染防止対策の強化①	スポーツ施設における感染症対策のため、手洗い場を自動水栓化し、感染拡大防止を図る。	不特定多数の人による水道器具を介しての接触によるウイルスの付着防止が図られ、感染防止対策として効果があった。	まちづくり推進課	R3.12.10	R4.3.16	1,408,110	1,408,000
スポーツ施設の感染防止対策の強化②	スポーツ施設における感染症対策のため、トイレの洋式化を行う。	不特定多数の人によるトイレでのウイルス飛沫防止が図られ、感染防止対策として効果があった。	まちづくり推進課	R4.2.17	R4.7.6	5,830,000	5,830,000
しそく生活困窮世帯自立支援給付金事業	コロナの影響により生活が困窮している方を対象とした社会福祉協議会が行う生活福祉資金新型コロナウイルス感染症(緊急小口資金の特例貸付)利用者を支援することで、コロナ禍が続く中で生活困窮世帯の生活安定を図る。	コロナ禍において、真に生活に困窮する世帯に対し給付金を支給することで、生活の立て直しや安定を促進するとともに、自立相談支援など支援策等につなぐきっかけにするなど役立てることができた。	社会福祉課	R4.1.13	R4.3.31	12,047,000	12,047,000
しそく子育て世帯サポート支援金事業	コロナの影響が継続する中、障がいのある子どもを養育する世帯に対し感染症への対策・対応を支援する。	国の給付金があたらない18歳を超える障がいのある特別児童扶養手当対象の児童を養育する保護者に対し給付金を支給することで、感染症対策やコロナ禍における生活の安定のための支援を行うことができた。	社会福祉課	R4.1.13	R4.3.31	1,200,000	758,000
しそく子育て世帯への臨時特別給付金事業	子育て世帯への臨時特別給付金の対象とならない所得超過世帯に対しても支援を行い、子どもたち未来を強く応援する。また同制度の基準日以降に、離婚等により子どもを養育する方へ支援が届かない場合に、その養育者に対し支援を行う。	所得制限により国の給付金があたらない子育て世帯に対し、コロナ禍において学校の休校などで経済的負担が増す中、給付金を支給することで子育て世帯の経済的負担を軽減することができた。	社会福祉課	R4.1.13	R4.3.31	17,132,193	17,132,000
意思疎通支援事業における感染症対策事業	手話通訳者として登録されている方に対して、口元の見える透明マスクを配布し、聴覚障害者等との意思疎通を安全かつ円滑に行う。	透明マスクを配付したことにより、安全かつ円滑に意思疎通事業を実施することができた。	障害福祉課	R3.12.15	R4.1.12	199,320	199,000
ボランティア活動等サポート事業	福祉や地域づくりに関するグループやサークルなど、市内で活動しているボランティア団体を対象に、新型コロナウイルス感染防止対策用物品を貸出し、ボランティア活動の継続を支援する。	パーティーションを購入したことにより、ボランティア活動の継続的な実施を支援することができた。	障害福祉課	R3.12.17	R4.1.7	97,280	97,000

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実績

(単位:円)

事業名	事業目的及び事業概要	事業効果の理由及び検証結果	担当課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費	臨時交付金充当額
自宅療養者に対する支援物資セットの配布	新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者であって、自宅療養(自宅待機)を余儀なくされている方を対象に、その期間中、必要となる食料品、日用品・衛生材料及び健康管理に必要な物品等を自宅に配付することで、安心して自宅療養を送れるように支援する。	新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者へ、食料品、衛生材料及び健康管理に必要な物品等を自宅に配布・貸与することで、安心して療養生活を送れるように支援を行った。	福祉相談課	R3.4.16	R4.3.31	1,705,159	1,680,000
訪問相談支援に係る感染防止事業	各家庭への訪問や各種教室などの事業実施時及び災害時の避難所訪問時などで保健師が体調不良者の健康観察に使用する物品を購入する。	聴診器とパルスオキシメーターを購入し、一人暮らしの高齢者宅や新型コロナウイルス感染者宅へ緊急訪問が必要な場合に、健康観察等に使用した。	福祉相談課	R3.8.25	R4.1.28	227,700	227,000
しそ感染不安者PCR検査費補助事業	宍粟市医師会の協力を得て、感染への不安を抱える方(無症状)への自費検査費の一部を補助することで、新型コロナウイルスへの感染が疑われる方の受検を促し、市内での感染拡大防止を図る。	新型コロナウイルスへの感染への不安を解消するとともに検査料金の一部を助成することにより受診を促したことにより、感染拡大防止に資することができたと思われる。感染状況が一定落ち着いた状況となっていたため、見込んでいた予定人数より利用者が少なかった。	保健福祉課	R4.1.26	R4.3.31	1,098,000	1,098,000
水稲農家支援交付金事業	外食需要の低下による米価の下落や米の引取価格が低下した影響を受けた水稲作付農業者への支援を行うことで、生産者の経営継続につなげる。	市内の水稲作付面積減少率の推移は、R2からR3が△1.9%に対し、本事業を実施したR3からR4は△1.3%と鈍化しているため、経営継続の効果はあったものと判断する。支援を受けた水稲農家からも、経営の悪化が緩和され継続の支えになったと感謝の声が多数寄せられた。	農業振興課	R3.12.15	R4.3.31	49,820,390	49,820,000
「宍粟市土万ふれあいの館」感染症対策事業	農産物加工処理室及び研修室利用者や農産物購入者等、不特定多数の方が訪れる施設における感染症対策を強化することで、利用者等の安全を確保する。	不特定多数が利用する施設のトイレに自動水栓を設置し非接触化したことで、当施設職員の感染者は一人も出でず、感染拡大防止に寄与することができたと言える。また、客数の増加も本事業の効果であり、成果目標を達成する見込みである。	農業振興課	R3.12.21	R4.2.4	165,000	165,000
「まほろばの湯」感染症対策事業	不特定多数の方が利用する温泉施設における感染防止対策を講じることで、利用者への感染拡大防止を図るとともに、安全安心な施設をPRする。	不特定多数の利用者が見込まれる温泉施設における感染拡大防止対策を講じることで、安全安心な施設をPRできた。	商工観光課	R3.12.13	R4.3.25	942,260	942,000
「原不動滝」感染症対策事業	日本の滝100選に選定されている「原不動滝」の見学料の徴収を無人化することで対面での接触機会をなくし、感染予防を図る。	不特定多数の利用者が見込まれる「原不動滝」の料金徴収を対面式ではなく、自動券売機による非接触型対応に講じたことで、感染拡大防止に寄与することができた。	商工観光課	R3.12.16	R4.2.17	511,000	511,000
「くるみの里」感染症対策事業①	くるみの里キャンプ場内にあるバーベキュー施設は設備が1か所にまとまっており、利用者同士が密集することから安心して利用することができないため、コテージの利用者毎に分散して利用可能な設備を導入し、コロナ禍で集客が伸びているキャンプ場への集客を図る。	以前は1箇所のみでの共同利用となっていたが、設備の導入後は、棟毎での利用が可能となり、使い勝手も良く、密集を避けることができ、集客へと繋がっている。	北部事務所(波賀)	R4.1.19	R4.3.25	927,300	927,000
「くるみの里」感染症対策事業②	くるみの里キャンプ場内にある管理棟内の客室は窓等を開放して利用すると、他の施設利用者から騒音等の苦情があることから、閉め切った状態で多数の方が利用できるよう空気清浄機能付きの空調設備を設置する。	施設を利用された方からの口コミの意見を聞くと、コロナ禍において夏場の暑い時期に部屋を閉め切った状態でも快適に利用でき、過ごしやすいと意見も頂き、施設利用者の増加に寄与している。	北部事務所(波賀)	R3.12.10	R4.3.25	556,600	556,000

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 実績

(単位:円)

事業名	事業目的及び事業概要	事業効果の理由及び検証結果	担当課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費	臨時交付金充当額
学校保健特別対策事業費補助金①	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 全国的に新規感染者が増加していることや、感染力の強い変異株に対し、各学校においても更なる感染対策の徹底を行い、子どもの健やかな学びを保障するため、必要な支援(消毒液等の保健衛生用品の追加的な購入経費、教職員の資質向上のための研修等支援経費に対する支援)を実施する。	コロナ禍の学校において、安全な環境の下での子どもたちの学びの充実・冬季における感染症対策の強化、また、夏季休業期間の短縮等により研修機会を逸した教職員に対し、資質能力の向上を図るための研修費用等を支援することができた。	教育総務課	R3.12.1	R4.2.28	2,778,122	975,000
学校保健特別対策事業費補助金②	学校における新型コロナウイルス感染症対策が長期化している中、第6波への万全の備えも見据え、各学校において感染及びその拡大リスクをできる限り低減させながら、教育活動を実施し、子どもの健やかな学びを保障するため、必要な支援(消毒液等の保健衛生用品等の追加的な購入経費に対する支援)を実施する。	コロナ禍において、各学校では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、子どもの健やかな学びを保障するための必要な支援ができた。	教育総務課	R4.4.1	R5.2.10	16,377,235	8,188,000
教育支援体制整備事業費交付金	幼稚園において新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら保育を継続しつつ、ポストコロナを見据え、幼児を健やかに育むことの出来る環境の整備を推進するため、必要な支援(保健衛生用品(消耗品・備品)の購入費等新型コロナウイルス感染症対策を徹底するために必要な経費に対する支援)を実施する。	コロナ禍において、各幼稚園では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、幼児を健やかに育むことの出来る環境の整備を推進するための必要な支援ができた。	教育総務課	R4.4.1	R5.2.8	1,498,742	750,000
消毒用アルコールジェル配送事業	市に寄付を受けた消毒用アルコールジェルを市内各施設、各団体等に幅広く配布し、感染拡大防止を図る。	市に寄付を受けた消毒用アルコールジェル・ハンドソープを市内各施設、各団体等に幅広く配布することで、感染対策を図ることができた。	教育総務課	R3.4.1	R4.3.31	500,463	500,400
オンライン学習支援ソフト利用事業	オンラインでの学習支援ツールや教材が利用できるソフトウェアを導入し、コロナ禍における小中学校でのパソコンやタブレットを活用した授業及び家庭学習を円滑化し、ICT教育の充実を図る。	GIGAスクール構想による導入端末や個人端末で利用できる学習支援ツールを導入することで、学校や家庭でのオンライン学習支援に活用し、コロナ禍における児童生徒の学びの保障に加えICT教育の充実に効果を上げることができた。	学校教育課	R3.4.20	R4.3.31	5,709,000	2,574,000
幼稚園・保育所・こども園のオンライン化環境整備事業	コロナ禍においても関係者が集まる会議や外部講師等を招いた研修などを実施していくため、市内幼稚園・保育所・こども園において研修や会議をオンラインで実施するための環境を整備し、情報交換の円滑化や職員の資質向上を図る。	オンライン化環境の整備後は、研修や会議をパソコンを用いたオンライン方式で実施することで、研修会場への移動時間の削減や、電子データによる情報交換の円滑化に繋げることができた。	こども未来課	R4.2.25	R4.3.31	1,853,808	1,853,000
芸術文化活動支援事業	新型コロナウイルスの流行により、芸術文化活動の自粛を余儀なくされ、活躍の場を失った舞台芸術活動への支援として、地域の文化関係団体の活動再開の機会の場を設け、芸術文化活動の再開の契機とするとともに新たな裾野を広げる機会とする。	「中央音楽の日」としてステージ演奏体験希望者を市内在住の方を対象に、プロ・アマ・個人・団体を問わず募集した。また、中央観光大使であるオカリナ奏者「茨木智博氏」をゲストとして招聘し計6団体と個人4名のみなさんに発表の場を提供することができた。また、感染対策のため、午前は無観客、午後のみ有観客とし、来場者からは「幅広い音楽が楽しめた」などの声が聞け、コロナ禍において音楽イベントを再開する良い契機となった。	社会教育文化財課	R4.1.4	R4.3.31	627,255	627,000